

下水汚泥から再生エネルギーを創出するシステムへ

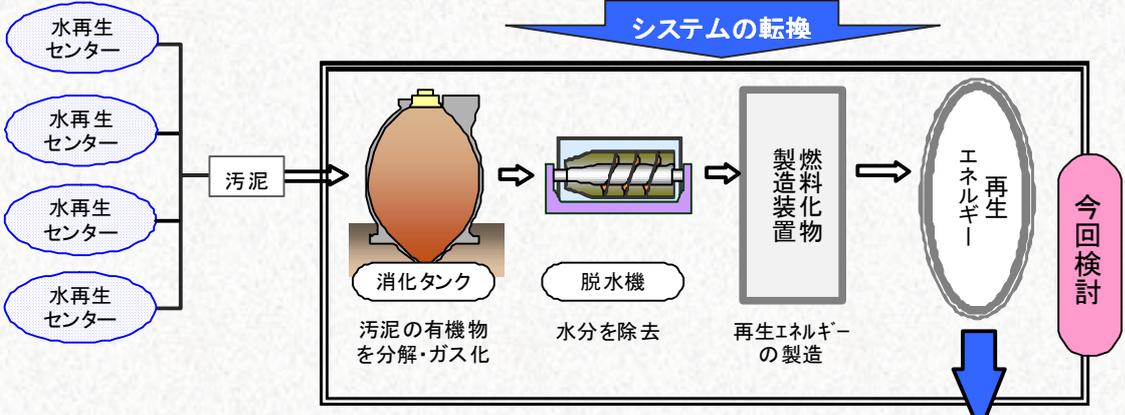
現在の下水汚泥処理は、消化工程を経て焼却した後、焼却灰をセメントや改良土の原材料として有効活用が図られています。

今回、焼却施設に代わり燃料化製造施設を採用することで、下水汚泥から“再生エネルギーを創出”するシステムへ転換し、再生エネルギーを石炭火力発電所で混焼利用することにより温暖化対策に貢献する検討を進めます。

汚泥資源化センター



システムの転換 (System Conversion)



再生エネルギーの混焼利用



燃料化装置製造装置

石炭火力発電所